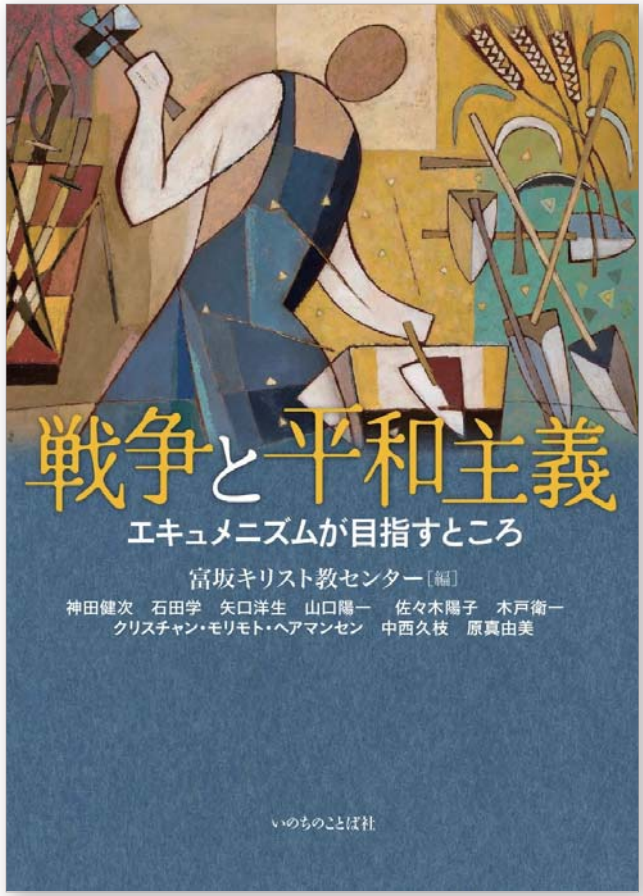

戦争と平和主義

エキュメニズムが目指すところ

富坂キリスト教センター 編

著者 神田健次／石田学／矢口洋生／山口陽一／佐々木陽子／木戸衛一
クリスチャン・モリモト・ヘアマンセン／中西久枝／原真由美

ロシアのウクライナ侵攻をどう受けとめるか。不条理な苦難ゆえの怒りと報復をどのように乗り越えるか。世界と日本の教会とキリスト者はこれまでどういうふうに取り組んできたか。ドイツや北欧の現状、近代戦争の状況をも報告する。

共同研究の内容に大きな影響を及ぼしたのは、昨年二月以降のロシアによるウクライナへの軍事侵攻であり、研究会ではその問いかけから研究内容を検証し合い、研究成果のタイトルも『戦争と平和主義―エキュメニズムの目指すところ』と定めた。ここで用いる「エキュメニズム」とは、キリスト教諸教派の一致と協力に限定されず、宗教間の対話と協力をも意味する広義の用法も内包している。（本文より）

A5判 224頁 定価2,200円（本体2,000円＋税）
ISBN978-4-264-04415-4 C0016
いのちのことば社　卸コード 29485